

ターボチャージャー



大型

中型



役割

ターボチャージャーを利用することで、エンジンにより多くの空気を送り込むことができ、燃焼効率を向上させ一回り大きなエンジンと同等以上のエネルギーを作ることができます。

定期メンテナンス の必要性

ターボチャージャーは、排気ガスを動力源としてタービンが高速回転し、厳しい条件で使用されます。そのため内部部品が摩耗・劣化します。



点検の時期

大型

中型

12ヶ月ごと

※大型車は、500,000～800,000Kmごとのオーバーホール(交換)を推奨します。
上記の推奨交換距離は、定期的なメンテナンスを実施いただいている場合で、車両の使用状況により異なります。メンテナンスノートに記載されている厳しい使用方(シビアコンディション)や高負荷連続運転が多い場合等、使用状況に合わせて早めのオーバーホール(交換)をお奨めします。



そのまま使うと…



エンジン破損